

SPA100シリーズのVOIPのクイックセットアップ

目的

Voice over Internet Protocol(VoIP)は、インターネットなどのインターネットプロトコル(IP)ネットワークで音声コールを伝送する方法です。管理者は、このページを使用して、Voice over IP(VoIP)ネットワークへの接続を保証するように電話ポートを設定できます。この記事では、ユーザーが初めてデバイスにアクセスするときに、SPA100シリーズでVoIP(Voice over IP)を設定する方法について説明します。

該当するデバイス | ファームウェアのバージョン

- SPA100シリーズ | 1.1.0 (最新の[ダウンロード](#))

VOIPの設定

注：サービスプロバイダーのネットワークに接続するには、インターネット接続が必要です。ATAのデフォルト設定では、ATAのWANポートからルータまたはブロードバンドネットワークデバイスのポートにケーブルが接続されると、自動的に接続されます。

ステップ1: Web設定ユーティリティにログインします。クイックセットアップページは、最初に開くページです。

Quick Setup

Line 1

Proxy: Proxy1

Display Name: User1 User ID: 1

Password: *****

Dial Plan: (*xx[[3469]11]0[00][2-9]xxxxxx[1xxx[2-9]xxxxxxS0]xxxxxxxxxxxxx.)

Line 2

Proxy: Proxy2

Display Name: User2 User ID: 2

Password: *****

Dial Plan: (*xx[[3469]11]0[00][2-9]xxxxxx[1xxx[2-9]xxxxxxS0]xxxxxxxxxxxxx.)

Line 1

Proxy: Proxy1

Display Name: Test1 User ID: 1

Password: *****

Dial Plan: (*xx[[3469]11]0[00][2-9]xxxxxx[1xxx[2-9]xxxxxxS0]xxxxxxxxxxxxx.)

ステップ2：回線1の[Proxy]フィールドに値を入力します。これは、サービスプロバイダーのプロキシサーバのドメイン名またはURLです。必要に応じて、回線2についても同じ手順を繰り返します。両方のフィールドのプロキシ名が異なっている必要があります。

Line 1

Proxy: Proxy1

Display Name: Test1 User ID: 1

Password: *****

Dial Plan: (*xx[[3469]11]0]00[[2-9]xxxxxx(1xxx[2-9]xxxxxxS0)xxxxxxxxxxxxx.)

ステップ3: アカウントを識別する表示名を、回線1の[表示名(Display Name)]フィールドに入力します。発信者ID名としても使用できます。必要に応じて、回線2についても同じ手順を繰り返します。

Line 1

Proxy: Proxy1

Display Name: Test1 User ID: 1

Password: *****

Dial Plan: (*xx[[3469]11]0]00[[2-9]xxxxxx(1xxx[2-9]xxxxxxS0)xxxxxxxxxxxxx.)

ステップ4:[Line1 user ID (回線1ユーザID)]フィールドにインターネットアカウントにログインするユーザID番号を入力します。アルファベットまたは数字のいずれかになります。必要に応じて、Line2についても同じ手順を繰り返します。

Line 1

Proxy: Proxy1

Display Name: Test1 User ID: 1

Password: *****

Dial Plan: (*xx[[3469]11]0]00[[2-9]xxxxxx(1xxx[2-9]xxxxxxS0)xxxxxxxxxxxxx.)

ステップ5:[Password]フィールドに、回線1のインターネットアカウントにログインする目的のパスワードを入力します。必要に応じて、回線2についても同じ手順を繰り返します。

Line 1

Proxy: Proxy1

Display Name: Test1 User ID: 1

Password: *****

Dial Plan: (*xx[[3469]11]0]00[[2-9]xxxxxx(1xxx[2-9]xxxxxxS0)xxxxxxxxxxxxx.)

ステップ6:[Dial Plan]フィールドに、Administrator Communication Suiteに適したダイヤルプランを入力します。それ以外の場合、管理者は回線1と回線2のデフォルト設定を維持できます。

注: ダイヤルプランには、パイプ文字「|」で区切られた一連の数字が含まれています。シーケンスはカッコ内に囲まれています。ダイヤルプランの各数字シーケンスには、ユーザが押したキーに個別に一致する一連の要素が含まれています。ダイヤルプランの例を次に示します。([1-8]xx | 9, xxxxxxx | 9, <:1>[2-9]xxxxxxx | 8, <:1212>xxxxxxx | 9, 1 [2-9] xxxxxxxxx | 9, 1 900 xxxxxxxx ! | 9, 011xxxxxx. | 0 | [49]11)

- [1-8]xx: ユーザが数字1 ~ 8で始まる3桁の番号をダイヤルできるようにします。システムが4桁の内線番号を使用している場合は、代替文字列を入力します。[1-8]xxx.このダイヤルプランは、システムの内線番号に関連付けられています。
- 9, xxxxxxx: ユーザが9を押した後、ローカルコールのように7桁の番号をダイヤルします。このダイヤルプランは、7桁の番号のローカルダイヤルに関連付けられます。
- 9, <:1>[2-9]xxxxxxx: この例は、ローカルエリアコードが必要な場合に適用できます。ユーザが9を押した後、数字2 ~ 9で始まる10桁の番号を入力します。このダイヤルプランは、3桁のエリアコードと7桁のローカル番号を使用したローカルダイヤルに関連付けられます。
- 8, <:1212>xxxxxxx: この例は、通信事業者がローカルエリアコードを要求しているが、コールの大部分が1つのエリアコードに送信される場合に適用されます。ユーザが8を押した後、

任意の7桁の番号を入力します。番号をキャリアに送信する前に、システムによって1プレフィクスと212エリアコードが自動的に挿入されます。このダイヤルプランは、自動的に挿入された3桁のエリアコードを使用してローカルダイヤルに関連付けられます。

- 9, 1 [2-9] xxxxxxxxx : ユーザが9を押した後、11桁の番号のうち、1から始まり、その後2から9桁の番号を入力します。このダイヤルプランは、米国の長距離コールに関連付けられています。
- 9, 1 900 xxxxxxx ! – この例は、米国の1 ~ 900の数字など、高い料金や不適切なコンテンツに関連する番号をダイヤルするのを防ぐために適用されます。ユーザが9を押した後、11桁の番号を入力します。シーケンスが数字1900で始まる場合、コールは拒否されます。このダイヤルプランは、ブロックされた番号に関連付けられています。
- 9, 011xxxxxx. – ユーザが9を押した後、011で始まる番号を入力します。このダイヤルプランは、米国からの国際コールに関連付けられます。

ステップ7:[Submit] をクリックし、デバイスを更新して変更を設定します。

進行状況を確認する手順

ステップ1:Web構成ユーティリティにログインし、[Voice] > [Information]を選択して[Information]ページに移動します。ページの[FXS1]または[FXS2 Status]セクションまでスクロールします。[Registration State]が[Registered]であることを確認します。回線が登録されていない場合は、登録が完了するまで数秒かかる可能性があるため、ブラウザを数回更新します。また、インターネット設定とDNSサーバ設定がISPからの情報に基づいて設定されていることを確認します。

Information			
Product Information			
Product Name:	SPA122	Serial Number:	CBT152700IG
Software Version:	1.1.0(011)	Hardware Version:	1.0.0
MAC Address:	30E4DB726B2E	Client Certificate:	Installed
Customization:	Open		
System Status			
Current Time:	1/1/2000 00:42:38	Elapsed Time:	00:03:05
RTP Packets Sent:	0	RTP Bytes Sent:	0
RTP Packets Recv:	0	RTP Bytes Recv:	0
SIP Messages Sent:	14	SIP Bytes Sent:	6922
SIP Messages Recv:	0	SIP Bytes Recv:	0
External IP:			
Line 1 Status			
Hook State:	Off	Registration State:	Registered
Last Registration At:	0/0/0 00:00:00	Next Registration In:	26 s
Message Waiting:	No	Mapped SIP Port:	
Call Back Active:	No	Last Caller Number:	
Last Called Number:		Call 2 State:	Idle
Call 1 State:	Idle	Call 2 Tone:	None
Call 1 Tone:	None		

Call 1 Jitter:		Call 2 Jitter:	
Call 1 Round Trip Delay:		Call 2 Round Trip Delay:	
Call 1 Packets Lost:		Call 2 Packets Lost:	
Call 1 Packet Error:		Call 2 Packet Error:	
Line 2 Status			
Hook State:	On	Registration State:	Registered
Last Registration At:	0/0/0 00:00:00	Next Registration In:	26 s
Message Waiting:	No	Mapped SIP Port:	
Call Back Active:	No	Last Caller Number:	
Last Called Number:		Call 2 State:	Idle
Call 1 State:	Idle	Call 2 Tone:	None
Call 1 Tone:	None	Call 2 Encoder:	
Call 1 Encoder:		Call 2 Decoder:	
Call 1 Decoder:		Call 2 FAX:	
Call 1 FAX:		Call 2 Type:	
Call 1 Type:		Call 2 Remote Hold:	
Call 1 Remote Hold:		Call 2 Callback:	
Call 1 Callback:		Call 2 Peer Name:	
Call 1 Peer Name:		Call 2 Peer Phone:	
Call 1 Peer Phone:			

ステップ2:ITSPによって割り当てられた番号に、外部電話を介して着信コールを発信します。電話機が鳴ると、コールの双方向オーディオが有効になります。